
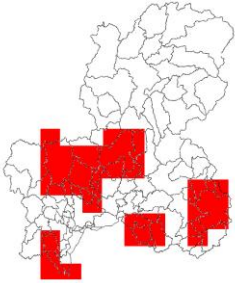


イワオモダカ	<i>Pyrrosia hastata</i> (Houtt.) Ching	絶滅危惧Ⅱ類
		ウラボシ科
選定理由	生育地が少ないうえ、生育環境が川岸や集落近くの岩場など不安定な場所であるため、種の存続への圧迫に絶えずさらされている。愛好家による園芸採取も多い。	写真(村瀬正成) 
形態の特徴	常緑性のシダ。根茎は短く這い、葉は接近して出る。葉身は掌状に3-5裂する。葉質は革質で厚い。	
生態的特徴	山地の岩上や樹幹に生育する。	
分布状況	北海道から九州に分布する。岐阜県では県南西部と県南中部の石灰岩および凝灰岩地帯に分布するが生育地は少ない。	
減少要因	山林開発、道路工事、治山工事、岩場の自然崩落などによる生育地の消失。愛好家による採集圧はきわめて強い。	
保全対策	生育地およびその周辺の森林を保全し、生育環境の維持に努める。	
特記事項		
参考文献		

文責:村瀬正成